

議会だより

9月定例会 No.57

令和元年10月25日
発行 石川県志賀町議会

ししか

志賀小学校 相撲大会



気合いだ！どすこーい！
負けるな 志賀っ子！



9月定例会は、9月3日から20日までの18日間の会期で開かれ、決算の認定、補正予算、条例改正の議案をはじめ、人事案件、議会議案、請願など合わせて39件を審議しました。

9月 定例会

10月からスタート

子ども・子育て支援法等の一部改正に伴い、本年10月より3歳児から5歳児までの子ども及び住民税非課税世帯の0歳から2歳までの子どもの保育所等における保育料の無償化が実施されます。

また、3歳から5歳までの副食費実費負担も町独自で無償化となります。

保育料・副食費
無償化



子育て・新婚世帯向け住宅
完成

単身棟につづき、10月1日より供用開始となったますほの丘住宅ファミリー棟

事業費（全体） 2億7912万円

耐火RC造2階建12戸（2LDK 1室の床面積62.99㎡）

家賃は所得に応じて45,000円、36,000円、31,500円

駐車場は1戸につき2台までで、1台につき月額1,000円



一般会計と5つの特別会計で黒字決算となっています。農業集落排水事業、地域し尿処理整備事業は令和元年度から下水道企業会計移行により打切り決算にて生じた赤字となります。ケーブルテレビ事業で差引残額が0円となっていますが、一般会計から資金を補てんして赤字を解消しています。また、水道事業会計の収益的収支では8613万円の純利益を計上し、病院事業会計では5010万円の純利益を計上しています。

会計名		歳入額	歳出額	差引残額	
一般会計		140億2591万円	134億5748万円	5億6843万円	
特別・企業会計	国民健康保険	24億8504万円	24億7449万円	1055万円	
	後期高齢者医療	3億3846万円	3億3800万円	46万円	
	農業集落排水事業	4億7367万円	5億213万円	△2846万円	
	公共下水道事業	8億830万円	7億9603万円	1227万円	
	地域し尿処理整備事業	5586万円	5813万円	△227万円	
	介護保険	28億7841万円	28億7122万円	719万円	
	診療所事業	1億6862万円	1億6656万円	206万円	
	ケーブルテレビ事業	4億6523万円	4億6523万円	0円	
	水道	収益的収支	6億3710万円	5億5097万円	8613万円
		資本的収支	1億1483万円	4億5575万円	△3億4092万円
病院	収益的収支	12億6922万円	12億1912万円	5010万円	
	資本的収支	1億1585万円	1億7450万円	△5865万円	

※水道及び病院事業の収益的収支については税抜き金額となります。

会計名		補正額	予算額	
一般会計		5億8087万円	133億7860万円	
特別・企業会計	国民健康保険	0円	23億7953万円	
	後期高齢者医療	46万円	3億3867万円	
	介護保険	1530万円	30億3467万円	
	診療所事業	△547万円	1億9661万円	
	ケーブルテレビ事業	379万円	4億6736万円	
	下水道	収益的収入	1060万円	12億7829万円
		収益的支出	1060万円	12億7368万円
		資本的支出	0円	11億5876万円
	病院	収益的支出	997万円	12億7243万円
		資本的収入	10万円	1億5082万円

一般会計では、人事異動による職員給与費の補正をはじめ、国庫補助金の内示に伴い地域介護・福祉空間整備等施設整備事業費や、本年6月の豪雨による農地農業用施設及び道路河川の災害復旧事業費などの補正となります。

特別・企業会計では、各種事業に伴い所要額の補正となります。

チェック



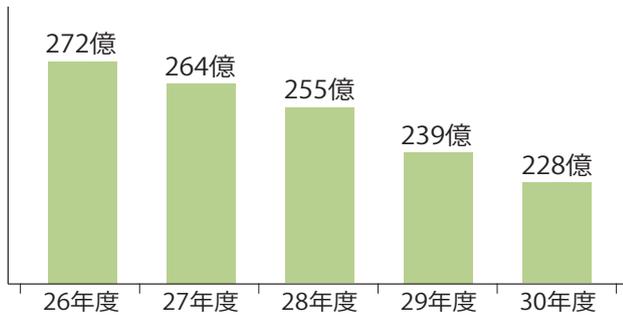
予算決算常任委員会

委員長 田中 正文

副委員長 堂下 健一

委員は、議長をのぞく全議員です。

【志賀町の町債（借入金）残高の推移】



地方自治体は、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するために財政指標を算定しています。志賀町の指標は、国基準を大きく下回っており、健全な財政状況を維持していますが、今後は厳しい財政状況が想定されるため、さらなる財政管理が必要になります。



財政は健全

【志賀町の財政指標】

指標名		実質赤字比率 財政規模に対する一般会計等の赤字の割合	連結実質赤字比率 財政規模に対する全会計の赤字の割合	実質公債費比率 財政規模に対する1年間で支払った借入金返済額等の割合	将来負担比率 財政規模に対する将来、町が支払う借入金返済額等の割合
志賀町		(赤字なし)	(赤字なし)	9.5%	(該当なし)
国基準	早期健全化基準	13.57%	18.57%	25%	350%
	財政再生基準	20%	30%	35%	-

一般会計

奨学基金制度

周知されているか

質疑

大学生等に無利子で貸し付けしているが、せっかくの制度を活用されていないのでは。また、地元へのUターンも重要であり、この点も考慮してほしい。

答弁

利用者は30年度で9名。今後は町内の中学校と近隣の高校にもPRしていきたい。また、町内で就業した方には奨学金免除制度もあり、この点も更にPRしていきたい。

道路台帳の

活用内容は

質疑

農道台帳・町道台帳の整備とあるが、耐用年数などは管理されているか。

答弁

各自警団で毎年点検している。

るか。また、老朽化したインフラ対策として耐用年数を超えたものは順に直すなどすべきでは。

答弁

耐用年数は入れていない。道路施設の老朽化度点検を行い、道路状況を適切に把握し、維持管理をしていきたい。

能登中核工業団地施設の修繕は

質疑

能登中核工業団地内グラウンドのベンチが座れる状況ではない。

答弁

危険であれば撤去など、現地で確認して対処したい。

小型動力ポンプ老朽化の把握は

質疑

小型動力ポンプの耐用年数など、老朽化の状況を把握しているか。

答弁

各自警団で毎年点検している。

志っ賀り

特別・企業会計

水道管の凍結対策は

質疑 平成29年度には凍結で水道管が割れた事故があったが、その後の対策は。また、給水車を購入したが、すぐに運用できる状況か。

答弁 町の管は大丈夫だが個人の管の管理のPRを徹底したい。給水車は月に2回、動作確認及び点検し、非常事態に備えている。

富来病院の職員の体制は

質疑 病床、施設の利用率が上がることは大変いいことであるが、職員の配置等に問題ないのか。

答弁 医師、医療スタッフを増員して対応している。

医療体制の充実を

質疑 病院における本来の事業目的は医療であり、患者が町外医療機関に行かなくても済むように医療体制の充実を図れないのか。

答弁 不足する常勤医師の確保に努め、医療の充実を図りたい。



病床機能転換により経営改善が見込まれる

令和元年度補正予算の審査

トイレ改修後の維持管理は

質疑 福浦灯台の観光客が使用できるよう福浦のコミュニティセンターのトイレが改修されるが、その後の維持管理はどうなるのか。

答弁 継続して地元での管理を予定している。

昨年の水害の教訓活かされているか

質疑 土砂災害ハザードマップ作成事業だが、どのようなマップにしようとしているのか。昨年の水害の教訓が網羅されているのか。

答弁 避難所、避難経路等を新たに加えて作成したいと考えている。



現在の「土砂災害ハザードマップ」

総務産業建設常任委員会

委員長	福田 晃悦	委員	寺井 強
副委員長	表谷 茂浩	委員	越後 敏明
委員	中谷 松助	委員	田中 正文
委員	南 正紀		

ますほの丘
ファミリー棟の
入居条件の対応は

質疑 ファミリー棟の入

居者の条件で、入居時は
該当していたが、事情に
より、入居条件に該当し
なくなった場合の対応は。

答弁 入居条件に該当し

なくなった場合は、すみ
やかに退去していただく
ことになる。



18歳未満の子供を扶養し同居している世帯、新婚世帯等
が対象となる。(入居者資格の一部抜粋)

教育民生常任委員会

委員長	林 一夫	委員	富澤 軒康
副委員長	南 政夫	委員	櫻井 俊一
委員	稲岡健太郎	委員	久木 拓栄
委員	堂下 健一		

災害弔慰金の
手続きは柔軟な
対応を

質疑 被災者は大変厳しい

状況に置かれており、
正規の手続きをとることが
困難な場合がある。被
災者に寄り添った柔軟な
対応をお願いする。

答弁 手続等に対する支

援についての基準はない
が、対象となる方には積
極的に町の方から案内す
る。

保育料無償化による
財政への影響は

質疑 保育料収入は年間

どの程度減額となるか。
また、財源は。

答弁 10月からの6か月

で、3歳児から5歳児の
保育料が1636万円の

減額となる。0歳児から
2歳児までの非課税世帯
の無償化は、志賀町では
すでに無料としているた
め、従前と変更はない。
財源は、今年度に限り、
自治体の負担分は臨時交
付金で交付され、来年度
からは地方交付税措置と
なる。

今後の消防団
統合の計画は

質疑 町内の16消防団で

20人の定員に達している
のは何分団か。今後統合
の計画はあるか。

答弁 現状は、定員に満

たしているのは3分団で
ある。そのほかほとんど
の分団は1〜3名の欠員
である。再編は各消防分
団に投げかけている。



消火活動、災害対応などの幅広い活動が求められている消防団



【9月定例会】主な議決結果

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
議案 49～56	令和元年度一般会計補正予算～令和元年度町立富来病院事業会計補正予算… 3ページ参照	可決 賛13 反0
57	志賀町印鑑条例の一部改正…旧氏による印鑑登録のほか、申請者本人に限り、個人番号カードを利用し、役場の窓口やコンビニ等で印鑑登録証明書の交付を受けることができるよう改正を行う。	可決 賛13 反0
58	志賀町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
59	志賀町コミュニティバスの運行に関する条例の一部改正…本年10月1日より、現在運行実験中である増穂線予約制乗合交通を本格運行とするため改正を行う。	可決 賛13 反0
60	志賀町一般職の職員の給与に関する条例及び志賀町職員等の旅費に関する条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
61	志賀町手数料条例の一部改正…コンビニ交付による住民票の写し等の取得にかかる手数料を定めるため、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
62	志賀町保育所条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
63	志賀町大島キャンプ場条例の一部改正…利用料金に自転車の利用区分を追加するとともに、本年10月1日より供用開始予定の新管理棟の管理規定を定めるため、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
64	志賀町営住宅管理条例の一部改正…領家町第1住宅の用途廃止及び解体撤去に伴い改正を行う。	可決 賛13 反0
65	志賀町地域優良賃貸住宅管理条例の一部改正…本年9月末に完成予定のますほの丘住宅ファミリー棟の管理規定を定めるため、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
66	志賀町給水条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
67	志賀町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正…関係法令の一部改正により、関係条文の改正を行う。	可決 賛13 反0
68	町道路線の変更(町道第307号堀松清水北吉田線)…米町川の河川改修で花園橋を撤去したことより、終点を変更する。	可決 賛13 反0
69	町道路線の変更(町道第714号福井連絡線)…幹線道路として地域住民の利用度が高い土地改良事業で整備した農道を町道に認定するにあたり、起点を変更する。	可決 賛13 反0
70	町道路線の変更(町道第742号雨谷線)…一般県道羽咋田鶴浜線の改良工事の完了に伴い、県管理の道路が町に移管されたことから、終点を変更する。	可決 賛13 反0
認定 1・2	平成30年度一般会計歳入歳出決算認定・平成30年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定… 3ページ参照	認定 賛12 反1
3	平成30年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定… 3ページ参照	認定 賛13 反0
4～7	平成30年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定～平成30年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定… 3ページ参照	認定 賛12 反1
8～11	平成30年度町立診療所事業特別会計歳入歳出決算認定～平成30年度町立富来病院事業会計決算認定… 3ページ参照	認定 賛13 反0

議案番号	議案名と主な内容 (議案名は一部省略してあります)	議決結果
請願 7	国に対し「消費税率引き上げの中止を求める意見書」の提出を求める請願 … 下記参照	不採択 賛2 反11
8	豚コレラ感染に関する抜本的な対策を国に求める意見書提出を求める請願 … 下記参照	不採択 賛3 反9
発議 6	新たな過疎対策法の制定に関する意見書 … 下記参照	可決 賛13 反0
7	豚コレラ対策の強化を求める意見書 … 下記参照	可決 賛13 反0
8	教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書 … 下記参照	可決 賛13 反0
同意 2	志賀町教育委員会委員の任命 … 志賀町教育委員会委員として保々稔氏(末吉)を任命するため、議会の同意を求める。	同意 賛13 反0

議会 議案

議会議案を全会一致で可決

意見書を国へ提出

議案名	提出議員	議案の内容
新たな過疎対策法の制定に関する意見書について	富澤軒康	現行の「過疎地域自立促進特別措置法」は令和3年3月末をもって失効することから、新たな過疎対策法を制定するよう求める。
豚コレラ対策の強化を求める意見書	南 正紀	豚コレラの一刻も早い沈静化と、本県のみならず我が国養豚産業の維持・発展が図られる措置を講ずるよう求める。
教職員定数改善と教育予算拡充を求める意見書	福田晃悦	子供の豊かな学びを保障するために教職員定数改善計画の策定、実施と教育予算の拡充を行うよう求める。

請願

2件の請願が不採択に

議案名	紹介議員	議案の内容
国に対し「消費税率引き上げの中止を求める意見書」の提出を求める請願	中谷松助	消費税は所得が低い人ほど負担が重く、生活そのものに課税するもので、応能負担の原則・生活費非課税の原則に反するものであり、本年10月の消費税10%引き上げの中止を求める。
豚コレラ感染に関する抜本的な対策を国に求める意見書提出を求める請願	中谷松助	家畜伝染病の豚コレラ感染が拡大を続けており、被害の終息、養豚農家や関連業者の生活と経営を守る抜本策を求める。 1 発生要因と感染経路の解明とアフリカ豚コレラなどの国内感染を防ぐための関連法を改正 2 防護柵設置などの対策費用に対する国の財政支援策を拡充 3 豚コレラワクチン使用の弾力的対応 4 被害農家への全額補償、その他の経費等及び営農再開のために必要な特別支援措置

防災力を強化せよ

通信環境を整備する 町長



福田 晃悦 議員

福田 近年、ゲリラ的に発生している豪雨などの自然災害に対する防災力の更なる強化の策を聞く。

①大雨警戒レベル4以上を想定した避難訓練の実施

②ヤフーとの災害情報発信に関する協定の締結

③大規模災害時の避難所の通信環境の整備の検討

町長 ①一部の地区で、各種災害を想定した自主的な訓練が行われており、こうした取り組みを支援していきたい。

②ヤフーと石川県が締結したことで、県内の避難情報や避難所開設の情報などは、各市町で入力することにより、自動的にヤフー防災速報等に反映するため、協定を締結する必要はない。

③災害時での携帯電話やタブレットは、情報提供に有効な手段であり、IP音声告知端末を利用して避難所のWiFi環境を整備することができるため、今後、機器の導入について検討する。

能登中核工業団地への交通対策は

適切な対策を検討する

環境安全課長



恒常化する通勤時の渋滞

福田 松木交差点で朝夕の渋滞が恒常化し、田原、長田区の集落内を猛スピードで通過する通勤車両があり、改善を訴える声がある。松木交差点渋滞解消に向けた対策と、団地を抜ける町道の外灯や注意喚起の標識など、対策を講じるべき。

環境安全課長 道路診断で松木交差点周辺の朝夕の混雑の状況や、田原や長田地区内の町道の通行の安全確保を警察、県土木事務所、町交通安全協会、町関係課の意見を聞き適切な対策を検討していきたい。

その他の質問

福田 消費税増税による町財政の影響は

企画財政課長 消費税率の引き上げに対応するため、一部町有施設の利用料金や公共料金の引き上げを行ったため、財政面の影響は少ないものと認識しているが、今後の国の予算編成や地方財政対策の動向を見極めていきたい。

各種通知書発送前の チェック体制は

複数職員で確認している

町長



南 正紀 議員

南 去る7月、岐阜市が行うがん検診の通知で、誤通知が発覚した。入力ミスを発見するための、職員相互による読み合わせの規則を9年間も行っていなかったことが原因である。

本町での各種検診通知の発送手続きの現状と、誤通知防止の仕組み、その他の各種通知書等の誤通知防止対策を問う。

町長 がん検診の通知は石川県成人病予防センターと石川県予防医学協会に、検診業務から検診結果を受診者へ発送するまでの一連の業務を委託している。委託業者から町へ納品された後に住所移転や死亡など異動があった場合、複数の職員で確認し、誤通知が発生しないよう努めている。

高齢ドライバーへの支援策は

助成は考えていない

環境安全課長

南 高齢運転者による事故の多発を受け、運転免許証の自主返納の機運が高まっているが、郡部で車は必需品とされている。運転に自信を失いつつも必要に迫られ運転を続ける高齢者も多く、東京都で急加速防止装置設置に対する助成を開始した。当町では、高齢運転者に対する支援の計画はあるのか。

環境安全課長 加齢と共に運転に自信のない方などの交通事故防止を図る観点から、運転免許証の自主返納支援制度や返



運転免許証返納者に志賀町コミュニティバス回数乗車券55枚と志賀町で使用できる商品券5,000円分が贈られる。

納後の高齢者等の外出機会を促すため、コミュニティバスの利用促進に取り組んでおり、現在のところ急加速防止装置の助成は考えていない。

その他の質問

南 緑ヶ丘地区の将来像について

まち整備課長 堀松住宅の取壊時期や再整備、跡地利用は現在のところ未定である。



中谷 松助 議員

移動販売車への車検代 補助制度の創設を

導入は考えていない
健康福祉課長

中谷 高齢化が進む中、配達支援協力店を紹介し、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう工夫を重ねているが、移動販売車を使っている協力店では販売車の購入費、人件費、維持費などの経費がかさんでいる。移動販売車への車検代を補助できないか。



二ズがある移動販売

健康福祉課長 一般的には事業者として車両の維持費、燃料費、人件費等の経費が掛かる中、商品にその必要とする経費分が転嫁されており、配達以外の用途にも車両を使用しているのが現状で、補助することには適さないため、制度の導入は考えていない。

有料ごみ袋の導入に伴う値上げはノー

審議会の答申を参考に総合的に判断する 町長



現在、利用されているごみシール

中谷 町では志賀町廃棄物総合対策審議会へ諮問し、有料ごみ袋導入を検討されているが、値上げにならないようにすればどうか。

町長 廃棄物総合対策審議会に対し、容量の小さい指定ごみ袋の導入やその手数料等、家庭ごみ有料化実施計画を諮問し、専門的な立場から検討していただいている。審議会からの答申内容を参考に総合的に判断したい。

その他の質問

中谷 原発ゼロ、志賀原発廃炉を

環境安全課長 原子力

規制委員会が審査が行われており、その動向を注視している。

中谷 子どもの医療費、病院窓口無料化を

住民課長 実施した場合に増額となる費用相当分を、別の子育て支援事業に充当していきたい。今後も、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、限られた財源の中で、有効な施策を実施していきたい。

中谷 会計年度任用職員制度の運用は

総務課長 総務省のマニユアルに従い、任用職員が不利益を生じることなく、適正な勤務条件等の確保に努める。

しかまちむすび事業 宣伝活動を強めるべき

関係機関と連携し広報する

ふるさと創生室長



表谷 茂浩 議員

表谷 結婚を誠実に希望する独身男女の出会いをサポートしてくれる「しかまちむすび事業」の経緯と現況は。また、この事業の広報や宣伝活動を強めるべきと思うが。

現在、役場庁舎内で登録手続きをする事となっているが、ナイーブな問題であり、別な場所にも事務所を設けてはどうか。

ふるさと創生室長 昨年

5月から、ふるさと創生室内に地域おこし協力隊1名を配置し、これまで結婚相談や未婚男女の交流会、婚活セミナーなどを開催してきたが、女性の参加が少ないのが現状である。今後は県のいしかわ結婚支援センターや近隣自治体と連携を図ると共に、婚活に対する取組を広く広報していきたい。

別の事務所の開設は、個人情報の管理、維持管理費等を考慮し考えていない。

県道交差点にカーブミラーを設置せよ

道路診断にて判断する

環境安全課長

表谷 町道夕焼け通り線と県道志賀富来線が交わる丁字交差点では、町道から県道に出る際に「左右の見通しが悪く、とても危険だ」との声がある。事故が起こる前にカーブミラーを設置すべき。

環境安全課長 既に女性団体協議会や地元交通安全協会からの要望もあり、警察、県土木事務所、町交通安全協会、町関係課が合同で実施する道路診断で、現地を確認したう



交通量が多く事故が起きる前にカーブミラー設置が望まれる(夕焼け通りから撮影)

えで判断していただく。

その他の質問

表谷 町内の公共トイレを洋式に

まち整備課長 今後、施設それぞれの課題、利用者の意見などを考慮しながら、計画的にトイレの洋式化を進めていきたい。

志賀原発内の 事故やトラブル対応は

緊張感を持った

対応を求める 町長



堂下 健一 議員

堂下 志賀原発構内での高圧電源車の出火事故を含め、あつてはならないことを起こしている会社に対する町の対応が甘すぎるのではないかと、これまで起こした事故やトラブルに対して、町なりに厳しい対応を迫ってきていると思うが、北陸電力の再発防止策は

町として納得いくものであったのか。次から次へと起きている事故やトラブルはどこに原因があるかと町は考えているのか。

町長 北陸電力には、今まで以上に緊張感を持って、発電所の安全性の追求に努めていくと共に、現在、継続して審議が行われている、2号機の新規基準への適合性審査でも、しっかりと対応していくよう求める。

埋蔵文化財保護の現状と 将来常設展示の展望は

空き施設の活用を検討する 教育長



文化ホールで展示される文化財

堂下 埋蔵文化財出土品の保管状況は悪く、貴重な町内の文化財が流失してしまう恐れもあるが、文化財保護の現状をどう捉え、どのような方向にもっていくかとしているのか、次のことを聞く。
① 公開する場も必要と思うが。
② 富来金山の出土品の展示はどこまで準備が進んでいるのか。
③ 文化財専門の学芸員配置も必要と思うが、検討しているのか。

教育長 空き施設を活用して一括管理できる保管場所や収納方法を検討していきたい、新たな施設整備は考えていない。
① 文化ホールの展示室で「志賀町の文化財展」を開催するなど、今後幅広く公開していきたい。
② 富来金山の出土品はないが、図面等は歴史的に価値のある貴重な資料であるので、今年度中に図書館にて公開したい。
③ 現状では、文化財専門の学芸員の配置は考えていない。

その他の質問

堂下 町実施の全国学力・学習状況調査の評価は

教育長 教育施策や指導法の改善、児童・生徒の学力向上等に有効であり、本来の目的に沿って活用していく。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えようための17の目標



SDGsの理念と整合性を図れ

理念と目標を学び、取り入れる

企画財政課長

稲岡 近年メディアでもよく取り上げられてい

るSDGsだが、持続可能な開発目標として2030年度末までの達成を国連は求めており、積極的に取り組む自治体や企業も増えてきている。県内でも珠洲市や白山市での取り組みが知られているが、今後の施策に対し、SDGsの理念との整合性をどのように図っていくのか。

企画財政課長

珠洲市や

白山市などの先進事例を参考に、今後策定する第2期総合戦略や個別の計画で、SDGsの要素を反映した計画づくりを進めながら、様々な局面にてSDGsの理念・目標を学び、取り入れていくことに努めていきたい。



稲岡 健太郎 議員

【SDGsとは】

「Sustainable Development Goals」の略。「持続可能な開発目標」のことで、2015年9月国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の2016年～2030年までの国際目標で、その17ある目標を背景とした169のターゲット、232の指標を定める。

災害対策費用保険制度の加入状況は

加入済みである

町長

稲岡 日本列島の自然災害により、多くの自治体が対策に多額の費用をかけている。災害対策費用保険制度は財政負担の軽減を図るために、避難対策等に掛かる費用負担を、民間の保険で補償する制度で、避難所の開設費用や炊き出し、飲料水等の供給に掛かる費用、消防団員の出勤手当などが保険対象となっており、負担軽減に大きく寄与するので加入してはどうか。

町長 昨年8月末に、これまでない記録的な集中豪雨を経験したことも踏まえ、今年度、当初予算に保険料を計上し、既に、この保険に加入した。避難勧告及び避難指示を発令した場合は、掛かった経費の全額が、避難準備・高齢者等避難開始を発令した場合は、その半額が保険金として支払われるものである。

町村の財政負担を軽減するための制度

議会広報特別委員会

委員長 南 正紀 委員 福田 晃悦
副委員長 表谷 茂浩 // 稲岡 健太郎
// 富澤 軒康
// 櫻井 俊一

表紙で引き付け 読みたいに変える…

各視察先では、表紙の写真撮影の際に文字の配置を決めてから撮影するなど、表紙だけでもいろいろな手法で取り組んでおり、たいへん参考になりました。また、プロカメラマン志岐氏による撮影教室では、写真の構成、構図、記事の内容やキャプションの重要性を学びました。今回学んだ取り組みや技術を、当議会だよりに活かしていきます。

8月7日、8日の両日、福岡県宇美町及び、福智町で広報作りを視察し、福岡市内では写真撮影教室を受講しました。



数々のベスト作品

石川県町村議会議長会

政局の行方は

8月27日、津幡町文化会館で「これからどうなる政局・政治展望」と題し、ジャーナリストの須田慎一郎氏による講演会が開かれました。

講演は、政策やその舞台裏の話など普段は聞けないような内容で、時間があつという間に過ぎてしまいました。

中央政界や経済の情報を収集すること、議会人としての質の向上を図るとともに、今後の政局の行方にも注目していきたいと思えます。

生涯学び



1階から2階天井までの国内初の「ブックタワー」

羽咋郡議長会

7月26日、野々市市の「学びの杜のいちカレード」を視察しました。

当施設は、図書館と市民学習センターが一体化した施設で、館内はまさに名前の由来「万華鏡(カレードスコーパー)」を想像させる構造となっていました。運営は官民連携によって行われ、市民が集い・学び・交わる拠点とされており、とても素晴らしい施設でした。

石川県町村議会議長会 広報クリニック

7月30日、津幡町文化会館で「石川県町村議会広報研究会」が開催されました。研修会では、住民に「読まれ、伝わる議会だより」と題し、住民目線で作成することの大切さを、改めて学びました。また、各町の議会だよりを批評していただき、広報全体の構成や、図解で視覚的



改善点を聞く受講者

に読み手に興味を持ってもらえる手法などの指導を受けました。今後の議会だより作成に活かしていきたいと思えます。



志賀天友太鼓

「志賀の太鼓」を愛してやまない志賀天友太鼓の皆さんを訪ね、お話を聞きしました。

天まで届く阿呆になれ

く女と奏でる太鼓道く



会長 山澤 強志 さん

◆結成の経緯は

平成8年、地元の先輩方が中心となって結成しました。

おかげさまで今年、結成二十三周年を迎えることが出来ました。

◆メンバー構成は

志賀町出身の20代から40代の志賀の太鼓をこよなく愛する熱い男達の集まりです。会員数は現在20名です。

◆普段の活動は

私達の心奥深くに描かれている勇壮果敢な「志賀の太鼓」を郷土の誇りとし、県内から県外まで幅広く、日々活動しています。

練習日は毎週月曜日に地域文化会館で19時から21時30分まで行っています。

◆これまでの成果は

各地の太鼓打ち競技大会で何組か大関を輩出しておりますが、これからも、たゆまぬ努力で太鼓道に精進していきたいと思っております。

◆最後にメッセージを

志賀天友太鼓は、長い歴史の上に連綿と受け継がれてきた「志賀の太鼓」のリズムを現代風にアレンジし、民衆の喜怒哀楽を表現しています。

これからも皆様の心を打てる様に一打一打に魂を込め打込みます。皆様の応援をよろしくお願いします！



心魂の一打!!



てっぺん目指して勇往邁進!

お知らせ

12月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

12/3 (火)	本会議 10:00	議案の上程 (町長が町の近況や議案説明をします。)
12/10 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
12/17 (火)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者
議長 寺井 強

議会広報特別委員会
委員長 南 正紀
副委員長 表谷 茂浩
委員 福田 晃悦
稲岡健太郎
富澤 軒康
櫻井 俊一